

西島 薫

講師
博士(地域研究)

Kaoru Nishijima

✉ kaoru.nishijima@komatsu-u.ac.jp

研究
Keyword

地域研究、政治人類学、インドネシア研究

プロフィール

2012年 大阪大学外国語学部国際文化学科 卒業
 2018年 京都大学大学院アジア・アフリカ地域研究研究科 博士一貫課程 修了
 2018年-2022年 京都大学学際融合教育研究推進センター 特定助教
 2022年 公立小松大学 国際文化交流学部 国際文化交流学科 講師

研究分野

地域研究、文化人類学・民俗学、政治人類学

所属学協会

東南アジア学会、日本文化人類学会、日本インドネシア学会、アメリカ政治学会、国際政治学会

専門分野・研究分野

「地域」を理解すること

ひとくちに「地域」といっても様々な分類することができる。東南アジア地域においても、平地と山地、沿岸部と後背地、都市部と村落部など様々な「地域」の分類がある。これらの「地域」にはそれぞれ固有の文化や歴史がある。地域研究では「地域」の固有性を理解するために、人類学、歴史学、政治学、経済学など様々なアプローチが用いられる。これまでの研究では、インドネシア・カリマンタンの後背地を調査地として、「地域」に暮らす人々と生活をともにしたり、法律や行政文書を調べたり、歴史史料を渉猟したりしてきた。様々な研究分野の蓄積やアプローチを横断的に参照しながら、「地域」固有の特性を解明し、その「地域」に暮らす人々を理解することが研究の目的である。

研究内容

民主化と王権の復興

冷戦の終結とともに、アフリカや東南アジアでは独裁体制が次々と崩壊した。インドネシアでは、1998年に約32年間続いたスハルト権威主義体制が崩壊し、民主化の時代を迎えた。中央政府が掌握していた権限が地方政府に移譲され、民主化が一気に推し進められた。民主化期インドネシアでは、地方各地の王や貴族たちが次々と復活している。カリマンタンの後背地に暮らすダヤック人たちの「王」の復活を事例に、民主化期における慣習の権威の台頭を研究してきた。王たちの復活には、民主化だけではなく、国家による後背地の森林開発、後背地に暮らす先住民の周縁化の歴史、国際的な先住民運動など様々な要因が関係している。研究の目的は、民主化と地域社会における王たちの復活という、一見相反するかのように見える現象を理解することである。



民主化と今日の王権の位相

シーズ・地域連携テーマ例

- 東南アジア地域の社会
- 近代化と慣習
- 民主化と地域社会

論文

- ダヤック人祭司王「復活」の歴史的経緯—南西カリマンタンにおけるウルアイ王の事例にもとづいた考察—。アジア・アフリカ地域研究 21 (1) 36-66. 2021年9月
- 神器が織りなす政体。—西部カリマンタンのダヤック人王権の事例から—。東南アジア研究 57 (2) 109-135. 2020年1月。

講演・口頭発表等

- ダヤック人エリートの形成過程—西カリマンタン州・クタパン県の事例から。第50回日本インドネシア学会大会。2019年11月
- 神聖王のポリティクス：西部カリマンタンのダヤック人王権の事例から。日本文化人類学会第53回研究大会。2019年6月
- 在来政体と親族集団の不整合性に関する考察：西部カリマンタンのダヤック人王権を事例に。東南アジア学会第100回研究大会。2018年12月

競争的資金等の研究課題

- 「民主化期インドネシアの地方王権ネットワークに関する人類学的研究」若手研究（代表）2019年-2021年、「グッド・ガバナンス論再考のためのインドネシア地域研究：ビッグデータ分析の試み」国際共同研究加速基金（分担）2019年-2022年



写真1. 調査地での儀礼の様子



写真2. 焼畑での収穫の様子